

にじのきらめき速報

No.4

高温耐性品種で多収と高品質を目指して!!

6月中・下旬の高温多照の影響で分けつが活発となり茎数が増加しました。6月22日に梅雨入りし、今後はいもち病や紋枯病の発生の注意が必要です。7月も引き続き雨の日が多い予報ですので、圃場をよく見回しましょう。

1. J A 生育調査状況（6月26日現）

栽培区分	平均作業日	草丈 cm	茎数 本/m ²	葉令	葉色
移植	5月20日	48.6	587.6	-	4.0

【平年比】

- 草丈：並み
- 茎数：多い

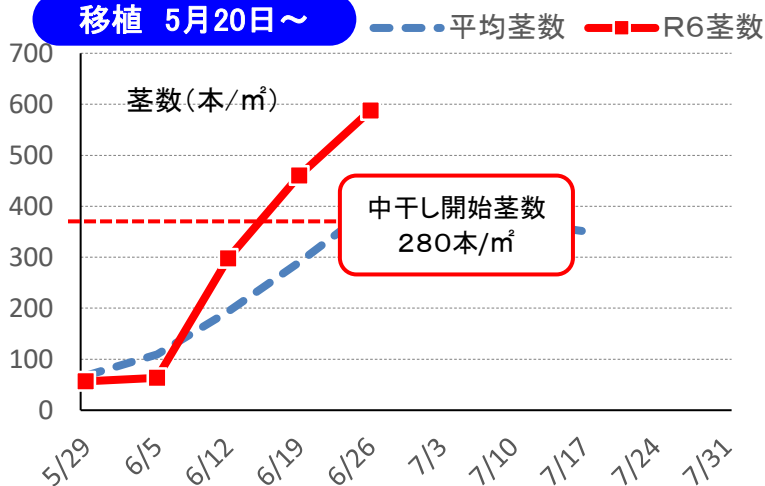
【生育調査の状況】

- 先週に引き続き高温の影響で茎数が大幅に増えました
- 中干しを継続してください



2. 茎数の推移と今後の管理

移植 5月20日～



3. にじのきらめき栽培管理のポイント

中干し溝切りは、幼穂形成期直前（7月上旬）まで。圃場の状況に応じて実施。過剰な中干しは根を傷め、胴割粒、乳白粒の発生助長します。



中干しの程度

- 粘土土壌（湿田）
- 生育過剰

強め（早め）
の中干し

- 砂質土壌（乾田）
- 生育不足

弱め（遅め）
の中干し

【生育の目安】

中干し・溝切り

6/28

出穂30日前

7/28

出穂

幼穂形成期

茎数・葉色
に注意!!

病害虫防除

- 梅雨入りしました。いもち病の発生に注意
- 畦畔の草刈りでカメムシの発生抑制